

記録：第 340 回海外邦人安全対策連絡協議会

11月9日、「第340回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は邦人のインドネシア帰還状況、ワクチン接種状況、新規感染状況、水際対策強化に係る新たな措置など。

1. 冒頭

(大使館総括公使)

最近コロナの話題が非常に多いが、現在感染が小康状態になってきており何よりかと思う。本日は1点情報共有・注意喚起したい。最近、インドネシアにある日系企業を狙った詐欺事案、会社版の振り込め詐欺のような事案の発生が続けて大使館に報告されている。これはインドネシアだけがターゲットではないかもしれないが、インドネシアの日系企業が集中的に狙われている可能性も否定できないため注意が必要。どのような事案かと言うと、会社の財務担当宛てに日本の本社の社長や幹部を名乗る人物から電話がかかってきて、内容は極秘のM&A案件があるというもので、「何万、何十万米ドルを至急指定口座に振り込んでくれ。ただし、このM&A案件は極秘情報なので貴方（財務担当）限りにすること。決して現地邦人の社長や周囲の人には口外しないように。」という話。今般報告を受けた事案では、電話を繋ぎっぱなしにされて、財務担当に対して社長を名乗る人物から送金の指示をして、送金依頼が終わったところまで社長の名乗る人物にフォローされ、財務担当も本社の社長に失礼があってはいけないということで冷静になれなかったというもの。銀行宛ての振込依頼を終えた直後に財務担当が心配になって、現地法人の社長に相談したところ、早速本社に連絡して詐欺であることが発覚、急いで銀行宛ての送金依頼をキャンセルして間一髪で未遂で防ぐことができた、という事案。それ以外に報告を受けている別の事案では、手口は全く同様で、M&A案件として本社からの電話だったが、その時の財務担当は機転を利かせて本社に折り返し確認させてほしいと提案し、先方はそういうことはしなくていいと言っていたが、確認したいと食い下がったところ、結局電話は切れたという事案。2件あるということは、今後このような事案がインドネシアの日系企業に起きる可能性があるので十分注意してほしい。また傘下にある系列の企業にも情報共有していただき、このような会社版の振り込め詐欺には引っかけられないように注意していただきたい。一旦このような事案に引っかけなくなると、また手口を変えてくるため、別の手口にも引っかけられないよう注意が必要。財務担当を直接狙ってきて誰にも相談するなど追い詰めて振り込みをさせるという手口だが、財務担当の一存で簡単にネットバンク等により振り込むことができる体制の企業はより危険が大きいと想像できる。ぜひ中小企業にもこの注意喚起のメッセージを拡散いただきたい。大使館からも今後機会を

捉えて注意喚起していく。本日参加いただいている皆様にもご協力をお願いする。

(大使館政務部書記官)

当地の治安に特に変化は見られないが、引き続き最低限の注意はしていただきたい。コロナが段々と落ち着いてきている影響か最近デモが多く見られるようになった。警察による規制の結果、交通に影響がある場合もあるため、大使館からも引き続き情報発信していくので参照していただきたい。また当然のことながら、無用のトラブルを避けるため、そういったデモには不用意に近づくことのないようお願いする。

2. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(大使館警備班書記官)

前回の海安協から邦人に関わる個別具体的な被害の報告はなし。ただコロナの落ち着きとともに街もほぼ通常どおりに戻って来ていると思われるが、人流が増えることでまた様々なトラブルが発生すると思われるため、日頃からお願いしている防犯対策・安全対策には引き続き気をつけていただきたい。またコロナの落ち着きとともにデモも増えてきている。先月は2件ほど当館から領事メールという形で注意喚起させていただいたが、500人から1000人程度のデモが増えてきている印象。明日も数百人が集まるデモが開催されるという情報がある。大使館からまた注意喚起するので引き続き情報を確認いただきたい。また先ほど総括公使から注意喚起した詐欺事案の話について、今回の事案は日本でもよくあるオレオレ詐欺と似たようなもの。電話を受けた相手方を焦らせて心理的動揺がある中で物事を進めるという手口。そのため、そういった電話を受けた場合は、一呼吸置いて、落ち着いて物事を検討いただき、重要な案件に関しては折り返して確認をして対応いただきたい。今回の事案は、本社の電話番号が表示されたということだが、アプリを使えば電話番号を偽装することも可能なので、番号など目に見えるものだけを信じずに改めて自身で確認を行い対応いただきたい。

3. 新型コロナウイルスをめぐる状況

(大使館医務官)

コロナの状況はかなり落ち着いてきて、私の方からコロナそのものについて話すことはほとんどなくなってきている。最近、これまでコロナ病床として使っていた病院・病床については、かなり元の状態に戻ってきて、コロナ病床も減ってきている様子。もちろん今は患者が少ないので回っている状態ではあるが、今後もしも再びコロナが活性化した場合に、そのような所がすぐに今までのような状況に戻れるかという点と非常に時間がかかるのではないかとと思われる。今回のコロナでかなり、インドネシ

アの医療体制が付け焼き刃的に整備された部分があり、その一方で入れ物は整備できたが、医療は人が行うものなので、人については全く補充されない、経験値が上がる訳でもない、そして、コロナにより多くの医療従事者が亡くなったり、重い病気になったりして、医療従事者自体が減っており、そういった点も心配。あと1点、ワクチン接種について、今かなりの邦人が2回目までの接種を受けていて、一部アストラゼネカ製を受けた方はこれから2回目を受けるかと思うが、1回目を打った時から時間が経っているので、3回目をどうするかというのが気になる点かと思う。ワクチン接種というのは、純粋に医学的なことというよりも、社会的・政治的な制度としての部分があるため、なかなかコメントは難しいが、もし皆様の中で医学的な部分で3回目を接種すべきかどうか、どういうことに注意すべきか、といった質問があれば、この後の質疑の時間でも個別にでも結構なので、質問いただければと思う。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

6月以降、コロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、日本人スタッフ、ナショナルスタッフ含めてほぼ完了しており、未接種はあと1、2人という状況。ワクチン接種のため一時帰国した駐在員は全員がこちらに復帰している状況。新たな再赴任については、この週末に1家族がビザを取って赴任する予定。ワクチン接種のために帰国した駐在員の家族についても全員こちらに戻ってくる。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。日本に待避していた社員は全員インドネシアに帰還済み。ワクチン接種については、現地法人では健康上の理由で接種していない者がインドネシア人スタッフで2、3人いるが、それ以外は日本人を含めほぼ2回目の接種完了。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。グループ内にて引き続き予防対策の徹底、ワクチン接種の推進、PeduliLindungiによるスクリーニング等の感染防止策の徹底を継続している。ワクチン接種について、駐在員は過去に感染した者以外は全員が接種完了。ナショナルスタッフは9割が接種完了。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、ナショナルスタッフ、ホームスタッフ含めて45名のうち、1回目は全員接種済み。2回目完了

しているのが 45 名中 43 名。残りの 2 名も 2 回目の間隔を取って 11 月末及び 12 月中旬に接種予定。

（企業からの報告）

先週まで日本人駐在員 3 名と帯同家族 1 名の計 4 名がアストラゼネカの 2 回目未接種であったが、先週金曜にこの 4 名も接種完了し、現在ナショナルスタッフ、日本人駐在員並びにその家族とも、ワクチン接種対象者については 2 回の接種を完了。ナショナルスタッフに未接種が 1 名だけいるが、これは懐妊に伴い接種していないもの。また、水際対策に関する新たな措置が先週日本政府から発表された関係で質問があるので、後ほど質疑応答の際に質問する。

（企業からの報告）

先月来、ナショナルスタッフ、日本人ともにコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、日本人は全員 2 回目接種を完了。ナショナルスタッフについても一部 2 回目を待っている者を除きほぼ完了。駐在員の当地への帰還状況については、駐在員自身は全員戻ってきており、家族についても今月 1 家族が戻ってくる。東部工業団地の状況について報告する。11 月 1 日からジャカルタは PPKM がレベル 1 になった。ただブカシ・カラワン方面はまだレベル 2。レベル 2 の地域については 11 月 15 日にまた延長されるか否かが分かると思われる。先ほど大使館からデモの情報があつたが、明日、ブカシ、カラワンにて労働団体によるデモが予定されており、デモ要求は 2022 年度最低賃金 10%UP、オムニバス法、雇用創出法の廃止など。毎年 11 月中に最低賃金発表を受ける前に各団体がデモを行っている為、ご注意をお願いします。

（企業からの報告）

数ヶ月コロナの新規感染者がいなかったが、先月、新規感染者が 1 名出た。その者は 1 回目のワクチン接種は受けていて、2 回目の接種を受ける前に PCR 検査を受けたところ陽性が出た。明らかに無症状だったが、ワクチン接種を受けたからといってコロナにかからない訳ではないと改めて感じた。駐在員は全員 2 回目接種済み。今月末にはジャカルタに帰還する予定。家族についても 12 月に帰還する予定で進めている。毎年のことだが、雨期が始まっているので道路の冠水に注意いただきたい。大切なもの（パソコンなど）はなるべく高い位置に保管したり移動させるなどの対策は各企業でお願いしたい。

(企業からの報告)

グループの駐在員二十数名は全員日本でワクチン接種を完了し、当地に再渡航済。現地の方でもコロナの新規感染者はなし。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。オフィスは75%、現場は100%が稼働している。ワクチン接種については、日本人は全員2回目を接種済みで、私用で日本に残っている者を除いて帰還済み。家族も帰還済み。ローカルスタッフもほぼ全員が2回目を接種済み。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種について、職員は日本人含め全員2回目接種済み。

(企業からの報告)

8月中旬からコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、駐在員のうち日本で接種を行った者は全員2回目を完了し9月末までに全員帰還。ナショナルスタッフは一部の社員が2回目の接種を待っているがほぼ全員が2回目接種済み。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種について、保健省がシノバックのワクチン接種を6歳以上に認めたとされるが、この基準によると6歳から11歳の子どもの3人ほど未接種の帯同家族がいる。それ以外の12歳以上の者については駐在員・家族とも接種完了。今後、この6歳から11歳の接種をどうするかについて検討が必要。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はほぼなし。先週ナショナルスタッフで2名陽性が出ているが広がりが少ないので偽陽性の可能性もあるかと思われる。日本人スタッフには感染者は出ていない。ワクチン接種については、ほぼ全員が接種完了。

(企業からの報告)

7月末以降、コロナの新規感染者はなし。人の動きについては、待避していた駐在員・家族ともに全員インドネシアに帰還済み。加えて、日本やシンガポールからの出張の受入れも再開している。ワクチン接種については、当地にいる駐在員・スタッフ

がほぼ全員 2 回目を接種済み。

(企業からの報告)

コロナの感染者について、グループ全体で罹患している者が 1 名だけ残っていて現在治療中。ワクチン接種については、健康事由で受けていない者が数名いるがそれ以外は接種済み。また、待避していた駐在員については全員帰還したが家族はまだ 1 家族も帰還できていない。12 月末から 4 家族が順次帰還予定。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種についても、特別な事情があるもの以外は接種済み。駐在員の帰還もついても進んでおり、1 名日本にいます。待避というよりも一時帰国ということで戻っている。家族についても順次帰還する予定になっており、既に数家族が帰還している。総括公使から説明のあった詐欺事件について、銀行の方から情報提供や勉強会等のご要望があれば気軽に申し付けいただきたい。

(企業からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、ナショナルスタッフを含めてほぼ全員 2 回目の接種が完了。家族についても既に数家族が帰還済みで今後も順次帰還予定。

(企業からの報告)

前回の海安協から動きがあったこととして帯同家族の状況について、社内で待避の解除が出て、12 月末までに 4 家族程度が帰還予定、また次の春休みシーズン頃までに追加で 7、8 家族程度が帰還予定。

(企業からの報告)

8 月中旬以降、コロナの新規感染者はなし。駐在員・家族はすべて帰還済み。ワクチン接種については、日本人スタッフは全員完了しており、現地スタッフもほぼ完了。

(企業からの報告)

9 月 1 週目を最後にコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、駐在邦人は全員完了しており、全社では 9 割方が完了。新規赴任者が多少遅れたがビザも取得でき今月入国予定。

(団体からの報告)

前回の海安協からコロナの新規感染者はなし。人の動きも特になし。ワクチン接種についても完了している。他には特に報告すべき事項はなし。

(JICA)

直近1ヶ月で日本人関係者やナショナルスタッフともコロナの新規感染者はなし。一時帰国していた日本人関係者は家族を含めほぼ帰還済み。ワクチン接種については、事務所の日本人・ナショナルスタッフともほぼ完了。

(JETRO)

7月以降、コロナの新規感染者はなし。ワクチン接種についても日本人・ナショナルスタッフ25名いるが、1名を除いて2回目接種済み。

(国際交流基金)

直近ではコロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、日本人スタッフは全員2回接種を完了。ナショナルスタッフは一部を除き順次接種しており少なくとも1回は接種済み。日本人職員と専門家の状況については、避難一時帰国している者を順次帰還させており、12月末までには全員帰還予定。

(チカラン日本人学校)

前回の海安協からコロナの新規感染者は教職員・児童生徒ともになし。ワクチン接種については、教職員35名中、健康上の問題で接種できない1名を除き34名が完了。皆様からも帯同家族が帰還するという話があったが、児童生徒の編入が急激に増えており、12月と1月で20名ほどが編入学の予定。

(ジャカルタ日本人学校)

8月以降、コロナの新規感染者はなし。ワクチン接種については、日本人は事務・スタッフ・教員合わせて66名のうち64名が完了。未接種のうち1名は罹患後2ヶ月のプログラムの日程が合わず接種できておらず、もう1名は心情的な理由から接種していない。

5. 質疑応答

(企業からの質問)

先週金曜に日本政府から発生された水際対策に関わる新たな措置について、日本が承認

したワクチンの接種者は隔離期間が短縮になるため、検疫対応について新たなステップを踏み出したと理解している。大使館からも政府に働きかけてくれた成果だと思う、感謝申し上げます。一方、この措置を享受するための手続きの複雑さの是非についてはこの場では言及しないが、2点ほど質問がある。

1点目は、申請は各企業を所管する省庁で受け付けることになっているが、各省庁で申請してから承認されるまでの期間にばらつきがあるのではないかと懸念している。質問内容としては、大使館で把握されている範囲で、申請から承認までおおよそどのくらいの所要日数がかかるのか分ければ教えていただきたい。趣旨として、この期間が10日ないし14日以上かかることになれば、現行の措置の期間とほぼ変わらないことになる。

2点目は、企業ベースの申請がメインになるかと思うが、個人事業主や無職の方（具体的には国際結婚した専業主婦の日本人の方など）はどのように申請すればよいか。

（大使館領事部長）

1点目の質問は、ご案内のとおり、まずは日本サイドにおいて受入れ企業・団体、所属先の企業の方から予め業所管官庁に連絡を取っていただいて申請いただく形となる。審査が完了するまでどれくらいかかるという点は現時点で大使館の方にも明示的に示されていない状況。ご指摘のとおり非常に重要な要素であり、審査に時間がかかるとそもそも趣旨からしてあまり意味をなさなくなるので、この点については確認して、皆様に何らかの形でお伝えする。

2点目の質問は、企業に属さない方が申し込む場合でも、身元保証となる方が必要となる。具体的に大使館から案内したいのは厚生労働省が昨日からコールセンターを設けており、毎日9:00から21:00まで週7日当面の間営業。こちらに連絡いただきたい。

次回海安協は2021年12月14日（火）に開催予定。